

2026年度 熱帯医学研究拠点 一般共同研究

海外共同研究 1,000千円上限 国内共同研究500千円上限

番号	課題名	氏名	所属機関・職	対応教員	新規継続	何年度～継続
2026-Ippan-01	天然物メタボロミクスを活用した新規抗マラリア化合物の探索	久保美和	徳島文理大学・教授	宮崎幸子	継続	2025～
2026-Ippan-02	赤痢アメーバの生細胞イメージングと機能解析を指向した蛍光プローブの開発	越智 里香	高知大学・講師	加藤健太郎	新規	
2026-Ippan-03	Deciphering the Regulatory Mechanism of TubD in Microtubule Nucleation and its Interaction with IMC1j during Plasmodium Gametogenesis	Xiaotong Zhu	China Medical University・教授	金子修	新規	
2026-Ippan-04	住血吸虫保存系の開発	王寺 幸輝	奈良県立医科大学・准教授	濱野真二郎	継続	2024～
2026-Ippan-05	Mass cytometryを用いた赤痢アメーバ感染における経時的な宿主免疫応答の解明	國村和史	九州大学・准教授	見市文香	新規	
2026-Ippan-06	ガーナにおけるフランベジア調査研究に向けた遺伝子配列読取プラットフォームの構築	和田崇之	大阪公立大学・教授	有馬弘晃	継続	2024～
2026-Ippan-07	Salmonella Paratyphi Cによる腸チフス感染モデルと持続感染因子	森田昌知	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所・主任研究員	児玉年央	継続	2024～
2026-Ippan-08	Functional analysis of GEAP36 protein with single amino acid substitution and mechanism of GEAP36-mediated penetration of male gamete through the parasitophorous vacuolar membrane.	Li Zheng	China Medical University・Associated professor	金子修	継続	2025～
2026-Ippan-09	Phenotypic Screening Coupled to Perturbation Transcriptomics to Uncover New Trypanocidal Mechanisms and Drive SAR Optimization of a First-in-Class Anti-Trypanosoma cruzi Chemotype	Carlos Alberto Montanari	University of Sao Paulo・Professor	稲岡健ダニエル	新規	
2026-Ippan-10	次世代型組換えウイルスベクターを用いた熱帯熱マラリアワクチンの細胞性免疫応答の解明	山本祐太郎	金沢大学・助教	水上修作	継続	2024～
2026-Ippan-11	SFTSウイルス感染細胞における麻黄湯の抗ウイルス効果	藤兼垂耶	福岡大学・助教	高松由基	継続	2025～
2026-Ippan-12	重症デング熱における血漿漏出病態を規定するDENV-宿主タンパク質相互作用ネットワークの解明と治療標的探索	池田輝政	熊本大学・教授	安田 二郎、櫻井 康晃	新規	
2026-Ippan-13	centrin遺伝子欠損リシューマニア弱毒生ワクチンによる免疫記憶T細胞の形成・維持機構の解明に向けた研究	井上信一	長崎大学・准教授	濱野真二郎	継続	2024～
2026-Ippan-14	抗シャーガス病活性を有する新規天然物の化学合成を基盤とする創薬研究の展開	石原淳	長崎大学・教授	稲岡健ダニエル	新規	
2026-Ippan-15	Identification of essential genes related to Plasmodium knowlesi red blood cell invasion	Nattawat Chaiyawong	Mahidol University・Faculty member	金子修	継続	2025～
2026-Ippan-16	腸炎ピブリオの運動性が病原性に与える影響	寺島浩行	金城学院大学・准教授	児玉年央	継続	2025～
2026-Ippan-17	バクテリオファージを用いた革新的なXDRチフス菌感染症治療法の開発	小島新二郎	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所・研究員	日吉大貴	継続	2025～
2026-Ippan-18	赤痢アメーバの寄生適応とリソソーム酸性化におけるプレセニン相同タンパク質の機能解析	牧内貴志	東海大学・講師	見市文香	新規	
2026-Ippan-19	Persistence of immunological memory to malaria infection in the absence of transmission	Maria Lourdes Macalinao	Research Institute for Tropical Medicine・Supervising Science Research Specialist	由井克之	継続	2024～
2026-Ippan-20	乳酸菌由来細胞外小胞の免疫賦活作用とマラリアワクチン応用へ向けた基礎的検討	都田真奈	長崎大学・教授	由井克之	新規	
2026-Ippan-21	Urine Antigen-Based Epidemiological Surveillance of Cholangiocarcinoma-Inducing Liver Fluke Infection in Endemic Communities of the Mekong Delta	Jorge Luis Espinoza	金沢大学・Associate Professor	稲岡健ダニエル	新規	
2026-Ippan-22	ベア型受容体によるGiardia認識の分子基盤と感染病態における役割の解明	石塚茂宣	佐賀大学・助教	見市文香	新規	
2026-Ippan-23	From Containment to Escape: Elucidating the Mechanisms of Acute Granuloma Failure in Invasive Salmonella Infection	Mohamad Al kadi	大阪大学・特任研究員	日吉大貴	新規	
2026-Ippan-24	Network Re-wiring in a Parasitic Metabolic Engine: A Multi-omics and Systems Biology Analysis of Trypanosoma cruzi acetate:succinate CoA transferase haploinsufficiency	Ariel Mariano Silber	University of São Paulo・Full Professor	稲岡健ダニエル	新規	
2026-Ippan-25	Trypanosoma cruzi トランススクリプター阻害剤の開発と活性評価	平井剛	九州大学・教授	稲岡健ダニエル	新規	
2026-Ippan-26	ヒト組織由来腸管オルガノイドを用いた腸管病原性機構の解明	奥崎大介	大阪大学・特任准教授	児玉年央	継続	2025～
2026-Ippan-27	中間宿主巻貝にヒト住血吸虫感染耐性を付与する免疫関連遺伝子（群）の探索	黒田玲子	中部大学・卓越教授	濱野真二郎	新規	
2026-Ippan-28	マラリア原虫感染による赤血球膜脂質構成変化のナノスケールレベル解析	藤田秋一	鹿児島大学・教授	金子修	継続	2024～
2026-Ippan-29	歯周病菌の病原因子ジンジンバインおよびアドヘジンの作用解析と精製系確立	中山真彰	岡山大学・准教授	有馬弘晃	継続	2025～
2026-Ippan-30	熱帯病を対象とした創薬開発を指向した微生物資源のケミカルバイオロジー	荒川賢治	広島大学・教授	水上修作	継続	2024～
2026-Ippan-31	マラリアにおける免疫記憶形成不全の解明-赤血球破壊に伴うアデノシン代謝チェックポイント活性化の関与-	木村大輔	神戸女子大学・教授	由井克之	新規	
2026-Ippan-32	治療薬開発に向けた 病原性生物の MQO の機能構造解析	岸川淳一	京都工芸繊維大学・准教授	稲岡健ダニエル	新規	
2026-Ippan-33	極限環境 生物由来の 新規抗マラリア活性成分の探索	松浪勝義	広島大学・教授	金子修	新規	

2026年度 熱帯医学研究拠点 シーズ研究発掘課題

100千円上限

番号	課題名	氏名	所属機関・職	対応教員	新規継続	何年度～継続
2026-Seeds-01	糖輸送体を標的とする抗赤痢アメーバ薬の開発	若尾雅広	鹿児島大学・助教	加藤健太郎	新規	
2026-Seeds-02	ヒト iPS細胞由来肝細胞を用いた肝細胞期マラリアモデルの構築	片上幸美	信州大学・助教	水上修作	新規	

2026年度 熱帯医学研究拠点 研究会または人材育成・研修などの取組

500千円上限

外国旅費を含む国際研究会または人材育成・研修などの取組は、1,000千円上限

番号	課題名	氏名	所属機関・職	対応教員
2026-A-01	医学公衆衛生学研究のための倫理に関する国際セミナー	平山謙二	長崎大学・教授	木原毅
2026-A-02	日本顧みられない熱帯病アライアンス (JAGntd) によるNTDsに関する研修と若手人材の育成	吉岡浩太	長崎大学・准教授	金子聰
2026-A-03	日本生体エネルギー研究会 第52回討論会 (JBEG2026)	北潔	長崎大学・教授	稲岡健ダニエル
2026-A-04	第32回分子寄生虫学ワークショップ	麻田正仁	帯広畜産大学・准教授	佐倉孝哉

2026年度 熱帯医学研究拠点 海外拠点連携共同研究

1,000千円上限

ベトナム拠点連携共同研究は1,000千円上限、ケニア拠点連携共同研究は1,500千円上限

番号	課題名	氏名	所属機関・職	対応教員	新規継続	何年度～継続
2026-Kyoten-01	ケニアにおけるワンヘルズな視点からのロタウイルス流行株の解析	河本聡志	大分大学・教授	金子聰	継続	2024～
2026-Kyoten-02	ケニアにおける動物・ヒトを対象とした人獣共通感染症の血清疫学調査	早坂大輔	山口大学・教授	井上真吾	継続	2025～
2026-Kyoten-03	ケニアにおける非結核性抗酸菌症の疫学的実態の解明	南宮湖	慶應義塾大学・教授	齊藤信夫	継続	2025～
2026-Kyoten-04	ベトナムのハンタウイルス感染者検体を用いた新規検査法の評価	三浦こずえ	東京大学・准教授	阿部暹	新規	
2026-Kyoten-05	ベトナムにおけるコウモリ由来レオウイルス感染症の疫学調査	播磨勇人	東京農工大学・助教	阿部暹	継続	2025～
2026-Kyoten-06	新技術「NSLカプセル」を用いた、常温での長期保存可能な早期ウイルス感染症検査デバイスの開発	木村雄亮	東邦大学・講師	阿部暹	新規	